

富士市の胃がん検診を受診しましょう！



日本人に多い「胃がん」を早期発見するために、新たに胃内視鏡検診を開始するとともに、対象者及び受診間隔の変更を行います。

健康政策課 ☎ 64-8992 📠 64-7172 📧 ho-kenkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

受診の必要性

胃がんにかかるリスクは加齢とともに高まります。市内では60歳代からの発症や死亡のリスクが顕著です。また、若い年代から胃がんにかかるリスクを検査することで、発症を防ぐために食事や飲酒・喫煙などの生活習慣について注意することができます。これらの検査をより多くの人に早く受診してもらうために、対象者・受診間隔の変更と新たな検診を開始します。

令和2年度の胃がん検診

5月1日から令和3年2月末まで受診できます。

胃がんリスク検診

ヘリコバクター・ピロリ菌感染と胃粘膜の萎縮を調べ、胃がんにかかるリスクを判定します。

対象／35～49歳の人

回数／対象年齢中に1回

自己負担金／集団検診・医療機関とも

1000円

胃部エックス線検診

バリウムを飲んでエックス線で直接撮影します。

対象／50歳以上の人

回数／2年に1回

※60歳代は胃内視鏡検診とどちらかを選択。

自己負担金／集団検診 1500円

医療機関 2500円

胃内視鏡検診

胃カメラによる検査です。検査医の一次判定後、検査医以外の医師が撮影画像を撮影し最終判定を行う、精度の高い検診です。

対象／60・62・64・66・68歳の人

※胃部エックス線検診とどちらか選択。

自己負担金／3600円(医療機関のみ)

※記載した対象年齢は、令和3年3月31日時点の年齢です。

胃がん検診（令和2年5月～令和3年2月）

35～49歳(対象年齢中に1回)

胃がんリスク検診

50歳以上(2年に1回)

胃部エックス線検診

60歳代は選択

胃内視鏡検診

(60・62・64・66・68歳)

若い世代は血液で胃がんのリスクをチェック！

お知らせ

・がん検診の対象者がいる家庭には、4月下旬に「がん検診等受診券」と「検診ガイド」を郵送します。



・大腸がん検診などの自己負担金の一部変更となりました。詳しくは検診ガイドをごらんください。

・がん検診は健康な人が対象です。治療中（経過観察中）の病気に関する検診は受けることができません。また、せきや微熱など、体調が悪いときは受診を控えましょう。

・がんドック検診は令和元年度で終了しました。

ウェブ予約をご利用ください

予約が必要な集団検診は、市ウェブサイトから予約できます。検索サイトで「富士市検診」と検索するか、検診ガイドの二次元コードをご利用ください。

富士市検診

検索